

令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：	長野県
農業委員会名：	駒ヶ根市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和6年4月1日現在)

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日	令和5年7月20日	任期満了年月日	令和8年7月19日
	農業委員		
	定数	実数	担当区域数
農業委員数	19	19	農地利用最適化推進委員
認定農業者	—	10	6
認定農業者に準ずる者	—	1	6
女性	—	5	2
40代以下	—	1	
中立委員	—	1	

2 農家・農地等の概要

	経営体数		農業者数(人)		経営体数(経営体)
総農家数	1,345	基幹的農業従事者数	562	認定農業者	80
農業経営体数	612	女性	210	基本構想水準到達者	47
※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		40代以下	55	認定新規就農者	15
		※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		農業参入法人	24
				集落営農経営	9
				特定農業団体	
				集落営農組織	

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	1,360	446	446			1,810

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	1,810	ha	1,192	ha	65.9	%
課題	担い手への集積は進んでいるものの、集約化に至っていない。また、場所や形状、営農条件の悪い農地については集積が進まない。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和10	年度	集積率	70	%
今年度の新規集積面積	10	ha	農地面積(C)	1,810	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	1,202	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	66.4	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③ 実績

今年度の新規集積面積	-3	ha	農地面積(F)	1,800	ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	1,189	ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	66.1	%
目標に対する達成状況(H)／(E)	99.5	%			

農業委員会の 点検結果	認定農業者等の中心的経営体数に大きな変動はないものの、全体として高齢化が進んでいることから、引き続き集約化のほか担い手の育成及び確保を進める必要がある。
----------------	--

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況					
	1号遊休農地面積		うち緑区分の遊休農地面積		うち黄区分の遊休農地面積	
	16.7	ha	5.3	ha	11.4	ha
	担い手の高齢化や後継者不足など、農業従事者の減少により、遊休農地の増加が懸念される。					

②目標

ア 既存遊休農地の解消

ａ 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	8.9	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	1.8	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	8.0	ha
--------------------------	-----	----

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	市農政担当部署・JA等と遊休農地の状況について情報共有を図り、解消に向けて方針を検討する。
-------------------------	---

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.1	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

ａ 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	0	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)／(C)	0.0	%

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	策定に至っていない
-------------------------	-----------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0	ha
---------------------------	---	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期			調査結果取りまとめ時期		
	令和6年6～8月			令和6年9～12月		
	1号遊休農地の面積	16.9	ha	うち緑区分の遊休農地	5.4	ha
				うち黄区分の遊休農地	11.5	ha
農地の利用意向調査	調査実施時期			調査結果取りまとめ時期		
	令和6年1～2月			令和6年3月		

農業委員会の点検結果	地域の農業者を中心にマッチングを行い、遊休農地の発生防止を図ることができたが、一方で、農業従事者の減少や高齢化により遊休農地面積は増加した。
------------	--

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和3年度新規参入者		令和4年度新規参入者		令和5年度新規参入者	
	1	経営体	5	経営体	2	経営体
	0.3	ha	5	ha	2.1	ha
課題	新規参入者の農地や営農環境の整備、営農技術の習得、運営資金の確保等が課題となっている。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均
	52	ha	55	ha	34	ha	47.0 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)					4.7	ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		21.4	ha
公表URL		(その他の公表方法)	窓口閲覧
目標に対する達成状況(B)/(A)		455.3	%
(参考)新規参入者の参入状況	参入経営体数	2	経営体
	取得農地面積	0.9	ha

農業委員会の点検結果	関係機関との連携、また、地元農業委員等の支援により新規参入者を確保することができた。引き続き、市内のほか市外からの新規参入の促進に努める。
------------	---

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	19	人
			農地利用最適化推進委員の人数	6	人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	6	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月・9月・2月	農地の集積	市開催の相談会に出席し、売渡・貸付希望地のマッチングに対応する。地域計画策定に向け、地域農業の将来像について市内各集落で話し合いを実施。
6月・7月・8月・9月・1月	遊休農地の発生防止・解消	一斉現地確認の実施、遊休農地と判定した農地所有者に対して保全管理を促す。地域計画策定に向け、地域農業の将来像について市内各集落で話し合いを実施。
8月・9月・2月	新規参入の促進	市開催の相談会に出席し、農地の情報提供等の新規参入支援に対応する。地域計画策定に向け、地域農業の将来像について市内各集落で話し合いを実施。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	5	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の結果
8月・2月	農地の集積	市開催の相談会に出席し、売渡・貸付希望地のマッチングに対応した。 地域計画策定の話合いを通じ、集積を進めることができた。
6月・7月・8月・ 1月・2月	遊休農地の発生防 止・解消	遊休農地所有者へ保安全管理を促すことにより解消を図った。 地域計画策定の話合いを通じ、耕作者が不在となる一部農地の解消を図った。
8月・2月	新規参入の促進	市開催の相談会に出席し、新規参入希望者の相談や借入希望地のマッチングに 対応した。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	3	回
---------------	---	---

開催時期	通年	相談会名	新規参入相談会
参加者数	3	開催場所	市役所・現地
相談会の内容	新規就農者への農業経営相談や集積可能な圃場案内		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	6	回
---------------	---	---

開催時期	4.5.6.11.12.1月	相談会名	新規参入相談会
参加者数	6	開催場所	市役所・現地
相談会の内容	新規就農後の相談対応、フォローアップ		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待どおりの結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
----	----------

目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	7
目標に対して期待どおりの結果が得られた	8
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	10

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入